

Health Care Economics

大学院特別講義のお知らせ

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記の通り特別講義を開催いたしますのでご案内申し上げます。

記

演題：TV・ゲームの視聴、学校でのスポーツ経験が、
子供の発達に与える影響の分析

演者：学習院大学 国際社会学部開設準備室 教授
乾 友彦 先生

日時：平成26年5月22日(木) 18:00-20:00

場所：共用セミナー室11 (M&Dタワー6階)

内容：

テレビやゲームをすることは、子どもの健全な発達や学習時間に悪影響を及ぼすのだろうか。厚生労働省が2001年から収集している「21世紀出生児縦断調査」の個票データを用い、テレビやゲームが、就学期の子どもの問題行動・学校環境への不応・肥満などの発達を示す指標や子供の学習時間にどのような影響を与えているかという因果関係を分析する。実証分析の結果、テレビやゲームをする時間が長い子どもほど発達に悪影響があるものの、その影響度は極めて小さいことが明らかになった。しかし、一日に4-5時間もテレビやゲームをするなど過剰な行動は、負の影響を飛躍的に大きくすることもわかっており、適切な管理が必要であることもうかがわれる。同様に子どもの学習時間への影響についてもマイナスの影響は認められるものの、その効果は極めて限定的である。

学校におけるスポーツ経験が学業、健康に与える影響について、双生児のデータを用いて分析したところ、学業にプラスの影響が認められないものの、正規雇用者になる確率は高いことがわかった。また健康面に関しては喫煙習慣に関して抑制効果があるものの、統計的に有意でなかった。肥満に関して、二卵性双生児では抑制効果が計測されたものの、一卵性双生児では観察されないことから、肥満の決定要因に遺伝が重要な影響を与えるものと推察される。

担当講座：医療経済学分野 五十嵐 公
連絡先：宇野 聡 (内線 5931)

uno.hce@tmd.ac.jp